

ご注文の際、プライス・コードもご記入下さい。
プライス・コード{a ¥ 1 6 9 0/A ¥ 1 8 9 0/B ¥ 2 0 9 0/C ¥ 2 2 5 0/D ¥ 2 4 9 0}
(表示価格は税抜き) 別途消費税が加算されます

www.tambourine-japan.com email: song@tambourine-japan.com

注文方法サイト: <http://www.oct-net.ne.jp/tambouri/order.htm>

[リイシュー/Historic Recording] はP4より

[DVD/GUITAR] PAL 方式

- *SOIG SIBERIL:La Guitare Celtique ¥2780
(PAL 方式 DVD の二枚組。ブルターニュを代表するケルティック・ギタリスト、Soig Siberil のケルティック・ギターの教則 DVD と Soig のギターの魅力をゲストを迎えた共演ライブ等多角的に紹介するライブ & ドキュメンタリー-DVD。Soig のギターの特徴と素晴らしさがつぶさにわかる。Coop Breizh)

[DVD/GUITAR]

※国内製 DVD プレーヤーで再生可能

- *MICHAEL MESSER:Guitar Maestros Series 1 D
(音質画像選曲全てが素晴らしいスライド・ブルース・ギター奏者 M. Messer のギター弾き語りライブ映像。"Main Feature"は Trevor Dann を話し相手に "Can't Be Satisfied" や "Walking Blues" など 8 曲を奏法に焦点を当てて演唱。"Additional Track"は完全ライブで "Rolling & Tumbling" や "The Lone Wolf" など 7 曲をクローズアップで演唱する。約 95 分。2006 作。Sound Technics)
- *STEVE TILSTON:Guitar Maestros Series 1 D
(音質画像選曲全てが素晴らしい S. Tilston のギター弾き語りライブ映像。鮮やかなフラットピッキング・ギターの伴奏による弾き語り "Here Comes The Nights" から SSW の Steve の弾き語りの世界に吸い込まれる。"Main Feature" の 8 曲、"Additional Track" の 8 曲の計 16 曲のパフォーマンスがスームアップで楽しめる。2006 作。Sound Technics)
- *GORDON GILTRAP:Guitar Maestros Series 1 D
(美麗アコースティック・ギターの G. Giltrap。"Main Feature"では 8 曲をインデュを挟みながら、Gordon の音楽の歩みを辿るようにアコースティック・ギターとダブルアコースティック・ギターを神業的名演奏を披露する。"Additional Track"には神業的名演奏が 9 曲 {こんな美しい "Here Comes The Sun" は聴いたことがない!} 収録。加えてエレキ・ギター演奏のワークショップのおまけ付き。ギター・ファン極楽保証。片面 NTSC でもう片面が PAL。2006 作。Sound Technics)
- *THE FOUR MARTINS:Guitar Nights ¥2980
(CD "Martins4" の DVD 版。Martin Carthy, Martin Simpson, Martin Taylor, Juan Martin のそれぞれが個性的ギタリスト達によるコンサート・ライブ。CD と同じ曲目で曲順の全 12 曲に 4 人のインデュ、Martin Taylor のギター・レッスン他。2003 作。P3 Music/ディスクの表が PAL all regions で裏が NTSC all regions)

(ギター・レッスン・ビデオ) NTSC

※国内製プレーヤーで再生可能

- *TONY McMANUS:Celtic Fingerstyle Guitar Vol.2 D
(John Renbournが「Tony McManus is the best Celtic guitarist in the world」と言った今最高のケルティック・ギタリストT. McManusによるギター・レッスン・ビデオ。Vol. 1は94分。P40のタブ付楽譜付。Vol. 2は68分。P32のタブ付楽譜付。2000作。Stefan Grossman Guitar Workshop)
- *DAVE VAN RONK:Folk, Blues&Ragtime D
(93作。Stefan Grossman Guitar Workshop)
- *STEFAN GROSSMAN:Hot Fingerpicking Guitar Solos D
(93作。Stefan Grossman Guitar Workshop)
- *JOHN REID:Traditional Irish Fiddle Tunes For The Fingerpicking Guitarist(Texas Music and Video) D

[CD/GUITAR, BOUZOUKI 他]

- *PETER RATZENBECK:Outremer ¥2790
(お宝。ゲスト:Andy Irvine。1995年作。Shamrock)
- *PETER RATZENBECK:Gitarero ¥2790
(お宝。ゲスト:Hans Theessink。1990年作。Shamrock)
- *IAN CARMICHAEL:Ten Years On C
(天才的アイリッシュ・バンジュー。Ian Carmichaelの演奏は職人芸的で、アイリッシュとスコティッシュと米国のオールドタイム・ミュージックの伝統的なリズムの特徴を追求・深化させることで、それぞれの音楽に新たな生命力と魅力とを生み出すことに成功している。バンジューの自由自在に弾ける音色と時折スライドして伸びる音色が新鮮で面白い。2015作。Splitrock Music)
- *SOIG SIBERIL:30 Ans De Scene D
(ブルターニュのケルティック・ギタリストで、Kornog, GwerzのメンバーのSoig Siberilの2枚組編集CD。1993年から2012年までのソロやデュオやグループの演奏が全29曲。ブルターニュのダンス音楽を独自のケルティックなギター音楽で演奏し、ブルターニュのトラッドの世界に新風を吹き込んだ。Tony McManus, Pierre Bensusanファン必聴。2013作。Coop Breizh)
- *RALF ILLENBERGER:Red Rock Journeys C
(アリゾナの「Red Rock」の山々の風景から生まれたギター音楽。彼のギターは妖精が踊るように？軽やか。ともするとこの手の音楽は過度に悠長になりがちだが、Ralfの演奏は細部に集中するようなリズム的な演奏で、曲が緻密で締まっている。ドラマティックな曲の展開はない。むしろ快いリズムの流れがキラキラと流れる印象なのだが、雲の流れや風の流れや風景の変化のようにも聞こえる。2011作。Stockfisch)
- *ULLI BOGERSHAUSEN:Vinyl 81-86 B
(Ulli Bogershausenなるギター奏者の81、82、84、86年の4枚のアルバムからの20曲入りマスター編集CD。研ぎ澄まされた感性に裏打ちされた自作曲の一曲一曲はまた詩情豊かでもある。2007作。Laika)
- *DARREN MALONEY:Complicated A
(このアイリッシュ・バンジュー奏者のD. Maloneyの本作はそのユーモア感覚に溢れた多様多彩な音楽にワクワクさせられる。アイリッシュをベースにした彼のヴァリエティに富む音楽と人間味ある音楽は、最高に魅力的。彼のバ

ンゾーは良く踊る。w. Shane MacGowan, Joe Brennan, Eileen Gannon, Aiofe Cunningham, etc. 2011 作。Darren Maloney)

- *ROBERT DOYLE:Life In Shadows A
(タブリンのフィンガー・スタイルのギター奏者でシンガー、R. Doyle のデビュー作。Pierre Bensusan の門下生という彼のギター弾き語り是一种独特の世界を創作。Bert&John をモデルとする彼独特な、深いところでアイリッシュ・スピリットがみなぎるフォークギター・ミュージックの世界を生み出している。2011 作。Robert Doyle Music)
- *DAVY GRAHAM:From Monkhouse To Medway 1963 - 1973 A
(1963 年の音源からの 5 曲と 1973 年からの音源からの 21 曲の 16 トラック。全曲未発表音源。2010 作。Hux)
- *STEVIE DUNNE>About Time B
(副題“Traditional Musiv On Tenor Banjo”。ピクニック気分の音楽や上品そうでとぼけた感じの音楽やアカパティックなはや弾きで楽しませ躍らせる、かと思えば、今度はスマートな音楽で気分を爽やかにしてくれる。魔法の音楽。2010 作。Stevie Dunne)
- *GORDON GILTRAP:Airwaves (2000 作。La Cooka Ratcha) C
*GORDON GILTRAP:Captured From A Point In Time B
(2006 作。ドイツHypertension)
- *DAVID SURETTE:The Green Mandolin A
(20 年以上ニューイングランドのケルト音楽シーンで活動するマンドリン&ギター奏者のソロ。D. Surette のマンドリンとギターによるアイリッシュを中心にした彼の演奏は職人技的な美しい演奏で魅了する。ふたつの楽器の音色の特性を生かしきった彼のアイリッシュは親しみやすいリズムやメロディの内にも優美さや気品を宿している。全 13 トラック。2009 作。Madrina Music)
- *JEFF LANG:Half Seas Over A
(オーストラリア人ギター奏者で SSW の J. Lang の本作はアメリカのフォークやブルースの根源へと一心を傾けた謙虚な傑作。集中力ある細心のギターの絶妙さにも心奪われるが、Jeff の物語を語るような唄の間と空気感が素晴らしい。2008 作。Furry)
- *ALEC STONE SWEET:Tumblin' Gap a
(オルド・タイム・ミュージックとアイリッシュのギター演奏。アイリッシュは Planxty や Kevin Burke のレパートリーや“John Ryan's”等だが、アタックの強いクローハンマー・スタイルで弾くギターは強弱が明確で古臭い音楽どころか音楽がキラキラ輝いている。全 16 トラック。2005 作。Solid Air)
- *LUCIO DAMASCELLI:Il Pieno e Il Vuoto C
(このイタリア人ギター奏者も素晴らしい。感性がやはりヨーロッパ的。気品があって優雅でロマンティック。ヨーロッパ的感性で純度高い華麗なギター音楽の世界を創造している。2006 作。Lucio Damascelli)
- *MARTINS 4 A
(Martin Carthy, Martin Simpson, Martin Taylor, Juan Martin のそれぞれが個性的ギタリスト達による個性的ギター・ソロとギター饗宴{競演}集。2005 作。P3 Music)
- *DESSIE KELLIHER:Banjoed C
(多彩なリズム飛び交う楽しいパブソングによるアイリッシュ。様々なダンス曲を驚異の力で楽しませる。w. Mike McGoldrick, Peter Browne, Tony

Byrne, Gary O'Brien, Pdraig O Se, Colin Farrell, etc. 2004 作。
Dessie Kelliher)

[**リイシュー/Historic Recording**]

(**CD/U. S. A.**)

*DAKOTA DAVE HULL & SEAN BALCKBURN

:Ace Pickin' And Sweet Harmony C

(Dakota Dave Hull & Sean Blackburn の 1977 年作の一枚目がデジタル・リマスターで再発。当時マイナー・レーベルと呼ばれたインディー・レーベルが注目され始めた頃にミネソタの Train On The Island から届けられた本作は、Happy&Artie などのウッドストック産の SSW~フォーク系の音楽に通じる土臭い音楽で、タムポリンが田圃鈴だった時代に大ヒット。個人的にも土色のジャケットとともに思い入れのあるアルバム。今聴いても、渋い音楽が全く枯れていない。w. Bob Bovee, Cal Hand, Peter Ostroushko, Becky Riemer, Curby Rule, Butch Thompson。尚本作は Woody Guthrie と Bob Wills に捧げられている。1977 年/2017 作。Arabica)

*DAKOTA DAVE HULL & SEAN BALCKBURN

:North By Southwest C

(1978 年作の二枚目もデジタル・リマスターで再発。原盤は素朴な SSW 系アルバムを世に送り出していた Biscuit City。一枚目に較べて自然体の、内面から生まれてくるような唄と土臭いサウンドが何とも心地よい。これを超えるまろやかなアメリカン・ルーツ・ミュージックはあまりない。今聴いても、音楽は古くさいが瑞々しい。二人ともギター、上手いなあ。w. Tim O'Brien, Peter Ostroushko, Butch Thompson。1978 年/2017 作。Arabica)

*NEIL YOUNG & THE STRAY GATORS:Toronto 1973 C

(Jack Nitzsche, Ben Keith, Tim Drummond, Kenny Buttrey の Stray Gators がバックの Neil Young の 1973 年トロントでの FM 音源のライブ。Neil Young の奇声もバックの音も "On The Way Home" や "Harvest" や "Old Man" や "Heart Of Gold" や "New Mama" や "Alabama" や "Cinnamon Girl" や "Southern Man" が旬だった頃の奇声と音。これらを含む全 17 曲のライブが悪かろうはずがない。77 分間夢の中。2017 作。Zip City)

*NEIL YOUNG:Bottom Line 1974 B

(Neil Young の 1974 年の名作 "On The Beach" リリース後最初に行ったコンサートのライブ盤。"On the Beach" 収録の 8 曲中 5 曲を含む本ライブ盤は、全曲ギターの弾き語り効果もあって、"On The Beach" のムードを保ったアルバムになっている。Neil Young の "Greesleaves" が聴けるのは、本作だけかも。全 13 曲。1974/2017 作。Gold Fish)

*CARP:Carp C

(ご存じ「ブラックホークの 99 選」にも選出された Gary Busey, Ron Getman, John Crowder, Glen Mitchell の四人組 "Carp" の唯一の愛すべきアルバム。共同プロデューサーの Daniel Moore の音楽志向がばっちり繁栄された LA スワンプ~カントリー・ロック。1966 年

にオクラホマ州大学時代に結成された彼らだが、今改めて聴いても、ドラムス、ベース、エレキギター、ピアノの演奏はしっかりメリハリがあって土臭く、確かなロックを体現し、ヴォーカル&ハーモニーは西海岸ロック志向の若者らしいヒューマンな味わいを高めている。奇跡&輝石の名盤。ゲスト:Sneaky Pete。1970年/2017作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)

- *FROMMOX:Here To There ¥2790
(伝説の Dan McCrimmon と Steve Fromholz の二人組“Frommox”の1969年作。Smartweed)
- *RICK ROBERTS:Windmills/She Is A Song ¥2790
 (“Windmills”と“She Is A Song”の2in1。1972/1973/2004作。Gott Discs)
- *EDDIE MOTTAU:No Turning Around C
(Eddie Mottau の1973年の奇跡のデビュー作。PPMの Paul Stookey がプロデュースを手がけて誕生した本作は、唄が渾身な上に、当時も今もほとんど無名のミュージシャン達のバックアップによる演奏は、一途にダウン・トゥー・アースで、当時の最良のロス産スワンプ風なスワンプっぽいアメリカン・ロックを体現していて、南部系SSWアルバムとして、充実しきっている。いくらほめちぎっても、ほめちぎり足りない。1973年/2017作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)
- *KRIS KRISTOFFERSON:The Austin Sessions A
(1999年にAtlanticからリリースされた“The Austin Sessions”[収録が始まったのは1997年]が二曲の未発表曲を加え、新たな装丁と解説付で発売された。Jackson Browne, Steve Earle, Matraca Berg, Vince Gill, Alison Krauss, Catie Curtis, Mark Knopfler などのゲスト・シンガーとの共演でも話題だが、Steve Bruton, Larry Paxton, Mike Baird, John Willis, Jim Cox などの精鋭で固めた土臭いルーツロックは、気合い充実の Kris のヴォーカルと絡み合っていて圧巻。全14曲。1999/2017作。Rhino)
- *DERROLL ADAMS:Feelin' Fine B
(英国の Village Thing から1972年にリリースされた“Feelin' Fine”がベルギーの Best Seller から1976年にリリースされた“Along The Way”から6曲のボーナス曲付で、めでたくCD再発された。“Feelin' Fine”の共演者は Wizz Jones, Danny Adams, Roland Van Campenhout で、“Along The Way”は Maggie Holland, Tucker Zimmerman, Youra Marcus, Danny Adams。バンジョーを爪弾きながらうたう低く柔らかな唄の数々は、小気味よく弾むバンジョーを伴って、心にふんわりと残る。全18曲。2017作。Ghost From The Basement)
- *THOMAS JEFFERSON KAYE:Thomas Jefferson Kaye C
(Bob Neuwirth や Gene Clark のプロデューサーでもあったSSWの Thomas Jefferson Kaye のファースト・ソロ。元々スワンプ志向の音楽性を持つ Thomas がカリフォルニアに移って制作した西海岸産スワンプ風ロック。Donald Fagen や Walter Becker や Rick Derringer に加えて、女性スワンプ・シンガー隊の Clydie King, Venetta Fields 他のもでも起用したロックは、「スワンプ志向」)

- で結集していて、完璧。1973年/2016作。紙ジャケット。韓国 Big Pink)
- *ORPHAN:Everyone Lives To Sing C
 (ちよくちよく Jonathan Edwards と共演していた Orphan {Eric Lilljequist {ヴァイオリン、ギター} と Dean Adrien {ヴァイオリン、パーカッション} のデュオのバンド} の 1972 年の一枚目。一曲目の "Easy Now" は Aztec Two Step、或いは Batdorf & Rodney の清々しいデュエットを想起させもするが、人なつっこそうな優しさは当時の Jonathan Edwards の唄にも通じるヒューマンな味わい。ゲスト: Jonathan Edwards。1972年/2016作。紙ジャケット。韓国 Big Pink)
- *GRAHAM NASH: Songs For Beginners A
 (便宜上 USA にて。名盤。1971年。Atlantic)
- *RICHARD SUPA: Supa's Jumboree C
 (スワンプの名盤。1971年/2016作。紙ジャケット。韓国 Big Pink)
- *JOHN PRINE: Bottom Line ¥2690
 (二枚組ライブ。1978年、ニューヨークのボトムラインでのライブ。FM ラジオの音源から全 30 曲。"Pink Cadillac" 収録のメンバー {John Burns, Howard Levy, Tom Pickarske, Angelo Varias} がバックアップ。1978/2015作。All Access)
- *LEE CLAYTON: Live At Rockpalast D
 (CD+DVDセット。Lee Clayton Band ~ Lee Clayton {ヴァイオリン、ギター、ハーモニカ}, Philip Donnelly {ギター}, Colin Cameron {ベース}, Tony Newman {ドラムス} ~ の 1980 年、ドイツのテレビ番組のショー向けスタジオでのライブ。CD は DVD のオーディオ版。全 15 曲。1980/2014 作。Repertoire)
- *JERRY CORBITT: Corbitt C
 (Youngbloods の Jerry Corbitt の 1969 年の一枚目。本作を聴くと Youngbloods のメンバーの中で、最もアメリカン・ルーツ志向のアーティストだったことがわかる。時はサイケデリック・ロック華やかなりし時代、Jerry は時代の潮流に流されず、既に、後の SSW のようにブルースやカントリーに立脚した音楽を、やや荒っぽくはあるが、堂々と体現している。Youngbloods は Jesse Colin Young と Jerry Corbitt の二人組でスタートしたバンドだが、音楽創りは Jerry の手腕によっていたであろうことが、この Jerry の大風呂敷なアメリカン・ルーツロックなアルバムから推測できる。音楽は Jesse とは対比的に泥臭く、パワフルだ。Produced by Charlie Daniels。1969年/2015作。紙ジャケット。韓国 Big Pink)
- *JESSE WINCHESTER: Seems Like Only Yesterday B
 (副題 "Live In Montreal 1976"。FM ラジオ収録の Jesse Winchester {1944-2014} の 1976 年のコンサート・ライブ。全 18 トラック。J. Winchester の最も充実していた時代のふくよかなライブ。1976/2015 作。Real Gone Music)
- *ROHRBACKER, HENDREN & KINGEN C
 : Rohbacker, Hendren & Kingen
 (1974 年に自主制作で 500 枚発売されたというレゴンの三人組フォーク・ロック・バンド。これは面白い。Byrds のカントリー部分を排除したややサイケデリックな時代感覚を持ったフォーク・ロックで、トリオ編成ながら、

キギター、ドラム、ベースの組み合わせによるは、軽快にロックしていて快感だし、ソフとで柔らかな個性で、SSW としても魅力のある Roy Rohrbacker のヴォーカルと、そしてトリオによるソフなハーモニーは、中々魅力的。あの時代に米国の北西の端っこで、時代の波を受けて、しこしこ俺たち流の優しいロックを創っていたヒューマンなロックバンドがいたんだね。Floating House Band を思い出した。1974 年 /2014 作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)

- *BILL STAINES:Somebody Blue C
(1967 年、Bill Staines が二十歳の時にリリースした二枚目。全曲ギターの弾き語り {セカンド・ギター:Ken Girard} の本作は、この次のアルバムが 1975 年作の“Miles”と言われても、何も疑わない聴き親しんだ Bill Staines の風薫るような唄そのまま。唄は素直で素朴で、曲調は風や水の流れのよう。その昔、“Miles”を聴いた時の感動が蘇った。それにしても昔の二十歳は老けていた…。1967 年/2009 作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)
- *J. J. CALE:Really (1972 作。カッダ Mercury) a
- *J. J. CALE:Grasshopper (1982 作。カッダ Mercury) a
- *RY COODER:Chicken Skin Music (1976 作。カッダ Warner) a
- *BILL STAINES:The First Million Miles Vol 2 A
(19 曲収録編集 CD。1998 作。Rounder)
- *ELVIN BISHOP:Let It Flow (1974 作。PolyGram/Capricorn) B
- *PETE SEEGER:Rainbow Race B
(本作は誰もが知るアメリカン・フォーク・シンガーの Pete Seeger の 1973 年のアルバム。反戦歌を含む本作は社会派のフォーク・シンガーとして、柔軟で力のある唄を聞かせていて、素晴らしい。唄は真っ直ぐに人の心へと向かっている。そんな中、ラスト曲“Hobo's Lullaby”はことのほか心に沁みる。伴奏はギターとバンジョーとベース。唄に人を動かす力があつた時代の音楽。1973/2014 作。Talking Elephan)
- *THE BAND:Live At The Academy Of Music 1971 ¥7800
(副題“The Rock Of Ages Concerts”。4 枚組 CD+DVD のセット。ディスク 1 とディスク 2 が“Live At The Academy Of Music 1971”の音源からの計 29 曲 {その内、Bob Dylan との共演が 4 曲}、ディスク 3 とディスク 4 が“New Year's Eve At The Academy Of Music 1971”の音源からの計 27 曲 {その内、Bob Dylan との共演が 4 曲}。DVD はその中からライブ映像 25 曲+“Archival Film Clips - December 30, 1971”から 2 曲。19 曲が未発表音源。解説:Robbie Robertson。縦横各約 25センチ、厚み 1.5センチのハードカバー・ブック型ケース。一家に一セット。2013 作。Capitol)
- *JOHN SEBASTIAN:Tar Beach D
(John B. Sebastian の 1992 年のアルバム。Shanachie)
- *GREG DOUGLASS:Maelstrom B
(開封。w. Norton Buffalo, Steve Douglass, Nick Gravenites, Doug Harman, Peter Rowan。ブックレットにパンチ穴有り。1993 作。Taxim)
- *ERIK DARLING:Child, Child B
(開封。パッケージにパンチ穴有り。2000 作。Wind River)
- *BOB DYLAN:Folk Singer - Humdinger C
“Just About As Good As It Gets!”

(2枚組 CD。1961～1962年録音の全44曲。数えてみたら、ラジオや教会等でのライブ曲が32曲収録。Dylanのデビュー時の唄がスタジオ録音とライブで楽しめる。2012作。Smith&Go)

*THE BURRITO BROTHERS

: Back To The Sweetheart Of The Rodeo D

(2枚組。1990作。Appaloosa)

*RANDY BURNS AND THE SKY DOG BAND

: Still On Our Feet a

(72年作の再発盤でRandy Burnsがライブ会場で手売りで売っているサイン入りスリム・ケースのCD-R。バンド編成の本作は春を迎えた鳥達のように潑刺として爽快。最高一枚。全12曲。Wildcat)

*RANDY BURNS: Live At Jocko's a

(1976年のヴァンタイン・1に行われたギター弾き語りライブ。全16曲。自作の3曲に加え、Eric Anderson作2曲“The Girl I Love”と“More Often Than Not”やDavid Blue作やTom Ghent作やTom Paxton作等の時代の唄、加えてトラッドの名曲2曲“Wild Mountain Thyme”と“Oh Shenandoah”等、R. Burnsならではの世界が創出されている。SSWファンの宝物。R. Burnsのサイン入り。音質は通常CDと同レベル。スリム・ケースのCD-R。2011作。WildCat)

*RANDY BURNS: The Exit & Gaslight Years 1965-1969 a

(二枚目“Evening Of The Magician”{68作}から7曲、三枚目“Song For An Uncertain Lady”{70作}から5曲と未発表音源から1曲の計13曲収録編集盤。ひっそりと自分の世界に酔ううつろなR. Burnsの唄の世界。心はあの時代。CD-R。自主制作)

*RANDY BURNS: Evening Of The Magician a

(1968年作で、ボクの心の中では、Eric Andersenの“Blue River”とイメージが重なるSSWアルバムの静かなる名盤。未発表曲1曲を含む11曲。68作。CD-R。ESP)

*THE BEST OF RANDY BURNS & THE SKYDOG BAND a

(70年代初めの“Skydog Band”をバックにしたフォーク・ロック時代のR. Burnsの17曲収録のベスト盤。傷つきそうなくらい感受性豊かで内省的な唄の世界。CD-R。自主制作)

*TOWNES VAN ZANDT: Live At McCabe's A

(1995年McCabe'sのライブ。1996作。Varese Sarabande)

*CASEY KELLY: Casey Kelly a

(C. Kellyの1枚目。バックはLeland Sklar, Russell Kunkell, Craig Doerge。そしてSneaky Pete, Jim Messina, Al Garth等がゲスト。プロデューサーは当時PocoのプロデューサーだったRichard Sanford Orshoff。CD-R。It'sAboutMusic.com)

*INTERNATIONAL SUBMARINE BAND AND JON CORNEAL

: Back At Home & Jon Corneal And The Orange Blossom Special a

(2000年作の再結成ISBの“Back At Home”{ボーナス曲2曲を含む12曲}とISBのJon Cornealと彼のバンドの1974年のアルバムの“2 in 1”。2011作。ドイツSPV)

*JANIS JOPLIN: X2 A

("Cheap Thrills", "Pearl" の 2 枚のアルバムの 2 枚組セット。2000 作。
Columbia)

- *STEVE GILLETT: Steve Gillett ¥2500
(ケース破損につきケース交換。1967 作。Vanguard)
- *FRANK CHRISTIAN: From My Hand (1995 作。Palmetto) ¥2980
- *VINCE BELL: Phoenix (1994 作。Watermelon) ¥2980
- *BOB DYLAN: The Bootleg Series Vol. 6 "Live 1964" ¥2980
(1964 年ニューヨークの Philharmonic Hall での 2 枚組ライヴ。全 19 曲。内 4 曲は Joan Baez とのデュエット。問題作 "Bringing It All Back Home" 発表のちょい前のギター弾き語りライヴ。2004 作。Columbia)
- *BOB DYLAN: The Freewheelin' (63 作。Columbia) ¥1280
- *SWAMPWATER: Reunion A
(1979 年、再結成時収録された音源からの全 14 曲。メンバーは Gib Guilbeau, John Beland, Thad Maxwell, Micky McGee。カントリー・ロックの旨みたっぷり。カントリー・ロック・ファン至福保証。本作は Larry Murray に捧げられている。例年 Akarma)
- *DELANEY & BONNIE & FRIENDS: On Tour (1970 年作。Atco) a
- *JIM GROCE: Bad, Bad Leroy Brown & Other Favorites a
(タイトル曲他全 10 曲。かつて EMI)
- *THE YOUNGBLOODS: Euphoria 1965-1969 (全 25 曲。99 作。Raven) a
- *GENE CLARK: American Dreamer 1964-1974 (92 作。Raven) a
- *LINDA RONSTADT: Don't Cry Now ¥1250
(1973 年作。Produced by Peter Asher。w. Glenn Frey, Buddy Emmons, Herb Pederson, Sneaky Pete Kleinow, Jimmie Fadden 他。73/2010 作。Rhino)
- *ARLO GUTHRIE: Alice's Restaurant (Rising Son) A
- *JESSE WINCHESTER: Jesse Winchester (70 作。Stony Plain) B
- *WARREN ZEVON: Preludes B
(Disc 1 が未発表音源から 16 曲収録、Disc 2 が 99 年の Austin City Limits スタジオでのライヴ 3 曲とインタビュー 5 つを収録の 2 枚組。2007 作。New West)
- *TOM RUSH: Take A Little Walk With Me A
(66 作。Collectors' Choice)
- *TIM HARDIN: 2 B
(67 年作がオリジナル・アート・ワークの紙ジャケット [デジパック] にて CD 再発。誰もが認める Tim のベスト。"If I Were a Carpenter", "Red Balloon", "Lady Came From Baltimore", "Tribute To Hank Williams" 他。67/2006 作。Lilith)
- *JAMES TAYLOR: Best Live a
("Sweet Baby James" で幕開けし、"That Lonesome Road" のアカペラで幕を閉じる 17 曲入ライヴ。アコースティックなのからポップなのまで全て彼らしいライヴ。93 作。Columbia)
- *TERRY MELCHER: Terry Melcher (74 作。Collector's Choice) A
- *CHRIS HILLMAN: Slippin' Away (Wounded Bird) A
- *FIREFALL: Break Of Dawn/Mirror Of The World A
(最高のカントリー・ロック・バンドの "Break Of Dawn" と "Mirror Of The

- World”の” 2 on 1 ”。82/83/2004 作。Wounded Bird)
- *THE ELVIN BISHOP GROUP
 :Party Till The Cows Come Home B
 (デビュー作{69 作}、”Feel It”{70 作}、”Rock My Soul”{72 作}の3 枚
 にライヴ音源 2 曲を含むボーナス曲 3 曲付計 30 曲入 2 枚組 CD。69/70/72
 /2004 作。イギリスAcadia)
- *JEFFERSON AIRPLANE:After Bathing At Baxter’s a
 (元 Jefferson 7 人の私メが欲しくて仕入れ。全て 67 年録音未発表
 のボーナス曲 4 曲付で CD 化。67/2003 作。BMG)
- *LEON REDBONE:Red To Blue (87 作。August/Rounder) ¥1280
- *LEON REDBONE:Whistling In The Wind ¥1280
 (88 作。August/Rounder)
- *LEON REDBONE:No Regrets (88 作。August/Rounder) ¥1280
- *EMMYLOU HARRIS:Luxury Liner ¥1280
 (未発表音源 2 曲ボーナス曲入。名盤。76/2004 作。Warner)
- *EMMYLOU HARRIS:Quarter Moon In A Ten Cent Town ¥1280
 (未発表音源 2 曲ボーナス曲入。名盤。78/2004 作。Warner)
- *EMMYLOU HARRIS:Blue Kentucky Girl ¥1280
 (未発表音源 2 曲ボーナス曲入。名盤。79/2004 作。Warner)
- *DAVE MASON&CASS ELLIOTT ¥1980
 (71 作。ビクター・エンターテインメント)
- *THE BAND:Stage Fright (リマスター。4 曲ボーナス曲付。EU EMI) ¥1280
- *THE BAND:Islands (リマスター。2 曲ボーナス曲付。EU EMI) ¥1280
- *RICK DANKO:Live at Uncle Willy’s a
 (1989 年、ニューヨークの Uncle Willy’s Kingston でのギター弾き語りライヴ。
 全 12 曲。2011 作。Floating World)
- *RICK DANKO:Live At The Tin Angel a
 (2 枚組。全 27 曲。1999 年 1 月 15 日、フィラデルフィアの Tin Angel での R. Danko
 {この年の 12 月 10 日他界}のライヴ。享年 56 歳。2011 作。Retro World)
- *RICK DANKO
 :At Dylan’s Cafe Washington DC December 8, 1987 a
 (2 枚組。Rick Danko の何とギターの弾き語りの全 43 曲。深夜、しみじみ
 と聴くのがいい。2009 作。Voiceprint)
- *SIR DOUGLAS QUINTET:Is Back A
- *JACK ELLIOTT:Ramblin’ Jack (24 曲入編集 CD。95 作。Topic) A
- *JOHN PRINE:German Afternoons (Oh Boy) a

(CD/U. S. A. [国内盤])

- *DON NIX:In God We Trust (Vivid) ¥2800
- *JIM PULTE:Out The Window+Shimmy She Roll, Shimmy
 She Shake (一枚目と二枚目の 2in1。Vivid) ¥2800
- *FRED NEIL:Bleecker & Macdougall (Warner) A

(CD/CANADA)

- *WILLIE P. BENNETT:Blackie And The Rodeo King D
 (1978 作。Bnature Music)

- *JOEY GREGORASH: Tell The People C
 (1973年発売の二枚目も一枚目同様メンフィスのスタジオ。Joeyは黒人シンガーのようにうたいかっただろう。本作ではソウルフルに熱唱するタイプの唄が目立っていて、唄に熱気が出ている。ただし、彼の唄からは黒っぽさはさほど感じられない。彼のシンガーとしての資質の問題だろう。心は「黒人シンガー」でも生まれた唄は、やや熱唱型のヴォーカル中心の王道的ロック。本作でNeil Youngの“Down By The River”を再演している。当時の空気が充満していて、音全体が熱く、そして懐かしい。1973年/2014作。紙ジャケット。韓国Big Pink)
- *JOEY GREGORASH: North Country Funk C
 (オリジナルLPは1971年にポリトールから発売されたというカターのSSWのJ. Gregorashの一枚目。録音はメンフィスのスタジオ。スタジオだが、スタジオの印象は薄い。むしろブルース・ロック〜フォーク・ロックの印象が強い。それでもやはりスタジオ印のロックは、骨太で底力がある。JoeyのChristopher Kearneyくらいがしっと骨太なヴォーカルは、当時としては米国南部音楽の最前線のパワーのあるロックを得て、最高にノリノリ。二曲目で同郷のNeil Youngの“Down By The River”をやっている。1971年/2014作。紙ジャケット。韓国Big Pink)
- *LEONARD COHEN: X2 A
 (“Songs Of Leonard Cohen”, “Songs Of Love And Hate”の2枚のアルバム)の2枚組セット。2003作。Columbia)
- *RICK DANKO: Live at Uncle Willy's a
 (1989年、ニューヨークのUncle Willy's Kingstonでのギター弾き語りライブ。全12曲。2011作。Floating World)
- *RICK DANKO: Live At The Tin Angel a
 (2枚組。全27曲。1999年1月15日、フィラデルフィアのTin AngelでのR. Danko【この年の12月10日他界】のライブ。享年56歳。2011作。Retro World)
- *RICK DANKO
 : At Dylan's Cafe Washington DC December 8, 1987 a
 (2枚組。Rick Dankoの何とギターの弾き語りの全43曲。深夜、しみじみと聴くのがいい。2009作。Voiceprint)
- *RAY MATERICK: Life And Times ¥1500
 (Ray Materickの70年代の音源からの2枚組編集CD。全24曲収録。SSWファンの宝物。2003作。Linus)
- *JONI MITCHELL: Ladies Of The Canyon a
 (リマスター。“Woodstock”, “The Circle Game”を含む12曲。70作。Warner)
- *BRUCE COCKBURN: Sunwheel Dance A
 (リマスター。2曲ボーナス・トラック付。71作。True North)
- *BRUCE COCKBURN: Circles In The Stream A
 (リマスター。“2 on 1”。全17曲。77作。True North)
- *BRUCE COCKBURN: Stealing Fire A
 (“Deluxe Edition”。リマスター。2曲ボーナス・トラック付。True North)
- *BRUCE COCKBURN: Live (リマスター。True North) A
- *KATE&ANNA McGARRIGLE: Love Over And Over ¥2090
 (w. Jane McGarrigle, Gerry Conway, Pat Donaldson, Alun Davies, Mark Knopfler, Paul Samwell-Smith, etc. 82作。PolyGram)

- *KATE&ANNA McGARRIGLE:Matapedia(96作。Hannibal) A
 *GORDON LIGHTFOOT:Sunday Concert Live ¥950
 (69年のトロントでのライブ。全11曲。EMI)

(LP/BRITISH FOLK)

- *NICK DRAKE:Five Leaves Left(69作。Island) D
 *NICK DRAKE:Pink Moon(72作。Island) D

(CD/BRITAIN&IRELAND他)

- *BRINSLEY SCHWARZ:Live Favourites A
 (嘘みたいの良いBrinsley Schwarzの1974年6月のライブ。メンバーはNick Lowe, Brinsley Schwarz, Billy Rankin, Bob Andrews, Ian Gomm。米国ロックをまっすぐに志向していた時代の土臭く若々しく清々しくにこやかなBrinsleyのロック。全13トラック。2016作。Vagon)
- *MEAL TICKET:The Albums ¥2990
 (なんとまあ懐かしい英国のアメリカン・ロック・バンドのMeal Ticketの1977年の一枚目"Code Of The Road"と1977年の二枚目"Three Times A Day"と1978年の三枚目"Take Away"に未発表ライブ二曲を加え、三枚組で発売された。Meal Ticketはタムボリン{田圃鈴}で紹介して火が付いた?個人的に思い入れのある愛すべきバンド。The Bandや西海岸ロックが大好きなのが、ピンピン伝わってくるとびっきりのバンドでしたね。2017作。Cherry Red)
- *WIZZ JONES:Wizz Jones C
 (これがWizz Jonesのソロ一枚目。本作が発売された1969年という時代に、もう既にギター・スタイルもヴォーカル・スタイルも完成していて驚かされる一方で、彼が傾倒した米国ルーツ音楽の華やきがちらほら音楽に顔を出していて面白い。ライナー・ノーツはLong John Baldry。Long JohnはWizzのバスキングの友だったそうだ。w. Clive Palmer, Dave Deighton。1969年/2017作。紙ジャケ。韓国Big Pink)
- *GERRY LOCKRAN:Hold On - I'm Coming! C
 (1967年作のGerry Lockranの一枚目。1942生まれだから、25歳の時の作品か。この歳ならもう音楽嗜好&志向もしっかりしていて当然で、彼のブルースを中心にした米国南部音楽志向音楽は、ロック創生期のフォーク、ロック、ジャズなどの音楽性がごった煮的で、Gerryのアクの強い唄と相まって、時代の音楽を超えた圧倒感のが感じられる。興味深いのはバックを務めるDanny ThompsonやTerry Coxなど四名が叩き出すロックにジャズの要素が見え隠れしていて、Pentangleにつながる音楽性も持っていること。Gerry Lockranはデビュー作時代から大物の器だった。1967年/2017作。紙ジャケ。韓国Big Pink)
- *GERRY LOCKRAN:Rags To Gladrags C
 (不滅の名盤。1976年/2016作。紙ジャケ。韓国Big Pink)
- *IAIN MATTHEWS:Live At Rockpalast ¥2690
 (1983年のドイツでのライブDVD{国内製DVDプレイヤーで再生可能})

とライブ CD とライブと同じ曲のスタジオ録音音源の CD の 3 枚組。各 3 枚とも 17 曲収録で、曲順も同じ。ロック・バンドを従えてロックするイアン・マッシュューズのロックのノリノリなこと！バンドのロックはタイトなロックで、イアン・マッシュューズのヴォーカルも終始テンションが高い。まだ見ぬピークを目指した時代の上り調子の青春ロック。Neil Young の“Mr. Soul”なんか滅茶苦茶かっこいい。DVD を見た後ライブ盤とスタジオ録音盤とを聴き比べるのも楽しい。1983 年/2016 作。MIG)

- *IAIN MATTHEWS: Intimate Wash D
(“The Notebook Series No. 3”。1993 作。Perfect Pitch)
- *PLAINSONG: On Air C
(副題“The Original & Unreleased BBC Session Recordings”。1972 年の BBC ライヴ。1992 作。Band Of Joy)
- *PLAINSONG: Dark Side Of The Room (97 作。Line) B
- *ALLAN TAYLOR: Behind The Mix C
(2000 年作“Colour To The Moon”の限定ボックス版 {廃盤} のボーナス CD “Behind The Mix”が CD 再発された。録音は 2000 年。前半の数曲が Allan Taylor のソロで、残りが Allan Taylor & Derroll Adams のデュオ曲という構成。一曲目の“Nadine”のみ、A. Taylor にしては珍しくロックっぽい曲で、二曲目からはいつものリラックスマードの A. Taylor の唄と仲の良い A. Taylor & D. Adams の唄と思い出話が続く。全体的な印象は、“Colour To The Moon”収録直前に亡くなった Derroll Adams {1925-2000} の追悼盤の印象。気心を知った二人の息の合った演唱に驚かされ、心和む。全 15 トラック。P22 のブックレットでは思い出の写真も拝める。2000 年/2017 作。Stockfish)
- *NICHOLAS RODNEY DRAKE: Time Has Told Me Volume Two ¥2800
(Nick Drake のカセットテープ録音等 1967 年 1 曲、1968 年 6 曲、1968 年 9 曲、1974 年 1 曲の全 17 トラック。2006 作。Schoolkids)
- *RALPH McTELL: A Collection Of His Love Songs ¥2800
(全 23 曲。1989 作。Castle)
- *TONY ROSE: Under The Greenwood Tree D
(CD-R 盤。検品済。イングランドのトラッドの名盤！！1971/2004 作。Leader)
- *TIR NA NOG: Tír na nÓg (1971 年/1992 作。BGO) B
- *CAROL GRIMES: Warm Blood C
(Grease Band っぽい南部ロック・サウンドの一曲目でぶっ飛んだ英国の女性シンガーの Carol Grimes の 1974 年作。米国ナッシュビルと英国ロンドンで録音された本作は、一曲一曲趣向の異なる大風呂敷な南部ロック〜スワンプ風の女性 SSW アルバムといった印象で、泥臭いロックの中、Carol は一曲一曲をシャウトする。同じ 1974 年に“Insane Asylum”というスワンプ系アルバムでソロ・デビューした Kathi McDonald を思い出した。w. Ron Cornelius, Kenny Buttrey, Tommy Cogbill, Mac Gayden, Karl Himmel, Jess Roden, Graham Bell 他。Produced by Bob Potter。1974 年/2017 作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)

- *BERT JANSCH:Living In The Shadow ¥6550
 ("The Ornament Tree" {1990 年}, "When The Circus Comes To Town" {1995 年}, "Toy Balloon" {1998 年})に、Bert Jansch の個人的なテープから未発表音源からの曲 14 曲を収録した"Picking Up The Leaves"の四枚組{すべてリマスター}。John Renbourn との共演曲二曲{笑い声も}を含む"Picking Up The Leaves"は、何とも懐かしいというか、Bert Jansch が最も輝いていた頃の音楽ばかりで、Bert Jansch スタイルのブリティッシュ・フォークに酔ってしまう。どれもが感涙。ハードカバー CD ブック型の豪華な装丁で解説は Colin Harper。2016 作。Earth)
- *BARBARA DICKSON
 :From The Beggars Mantle...Fringed With Gold A
 (1970 年/2002 作。CD-R 版。レコード会社自家製でジャケット品質二流。Phonograph)
- *BOB PEGG & CAROLE PEGG:He Came From The Mountain C
 (Mr Fox の Bob & Carole Pegg が Mr Fox とは別に 71 年に発表したブリティッシュ・フォークの名盤。Bob Pegg の英国調の品のある節回しが特徴的なヴォーカルと Carole Pegg の花のつぼみのような清々しいヴォーカルのバランスというか妙というか綾がが素晴らしい。Produced by Bill Leader。Mike Lavelle, Nick Strutt, Barry Lyons, Pete Wagstaff, etc. 1971 年/2016 作。紙ジャケット。韓国 Big Pink))
- *PHILLIP GOODHAND-TAIT & THE STORMSVILLE SHAKERS
 :Ricky-Tick... 40 Years On C
 ('Phillip Goodhand-Tait & the Stormsville Shakers' 時代 {1965-1966} の 10 曲。2005 作。Span TV)
- *GOTHIC HORIZON:The Jason Lodge Poetry Book C
 (Andy Desmond&Richard Garrett のデュオ、Gothic Horizon の 71 年作。夢心地な美しきブリティッシュ・フォーク。田園志向というか、自然が身近で水清く心清い清々しい音楽。2002 再発。Hugo-Montes)
- *JACK THE LAD:The Old Straight Track(1974/2005 作。EMI) D
- *MICK SOFTLY:Songs For Swingin' Survivors B
 (M. Softly の 65 年作の枚目。65/2003 作。Hux)
- *GAY & TERRY WOODS:Backwoods A
 (Gay&Terry の 1975 年の一枚目。1975 年/2002 作。Hugo-Montes)
- *JAKE WALTON:Songs From The Gurdy-man C
 (Jake Walton&Jez Lowe の"Two A Roue" {1986 年} から 6トラックと Jake Walton の"Sunlight And Shade" {1982 年} から 8トラックの計 14 トラック収録の編集盤。Wundertute)
- *RAB NOAKES:Red Pump Special 40th Anniversary Edition B
 (70 年代 SSW の名盤"Red Pump Special"が本人のレーベルから四曲のボーナス・トラック付きの全 14 曲、デジタル・リマスターにて発売。プロデューサーの Elliot Mazer は「Lindisfarne と Rab Noakes のライブを観に行った。驚嘆すべき、独特なプレイヤーの曲を書き、歌詞がとっても面白かった」とこの記念盤のブックレットの思い出話の中で述べている。Tommy Cogbill, Kenneth Buttrey, Weldon Myrick, Teddy Irwin, John

Harris 等のナッシュビル生え抜きのスタメンに加えて、Memphis Horns も参加して制作された本作が悪かろう筈がない。ボーナス曲四曲は一曲はリマスターっぽくて、一曲は飄々。残りの二曲は別テイク版。実際飄々とも聞こえる。1973/2013 作。Neon)

- *FAMOUS JUG BAND:0 For Summer B
(2000 年録音のFamus Jug Band再結成盤。全 16 曲。2001 作。Market Square)
- *LINDIFARNE:Buried Treasures Vol.3 B
(副題“Rare and unreleased 1969-2000。全 17 曲。2000 作。Siren Music)
- *ERIC CLAPTON:461 Ocean Boulevard (1974 年。Polygram)¥1000
- *YOUNG TRADITION:Oberlin 1968 A
(Young Tradition{Peter Bellamy, Royston Wood, Heather Wood}の 1968 年 11 月 17 日、米国の Oberlin College で行われたライブ。イングランドのトラッド・ファンなら冷静には聴けない見事なアカペラによるトラッド・シンキング・アルバム。三人のシンキングは極めてスティック。そのスティックさが音楽的にイングランド的気品を生み、伝統歌の質をピュアに高めている。Peter Bellamy のシンキングのみならず、Royston も Heather もオーラを放つほどに見事なシンキングを高く貫いている。滅茶苦茶素晴らしい。アカペラによるイングランドのトラッド・シンキングの原点であり、一つの理想型。全 25 曲。1968/2013 作。Fledg'ling)
- *MANDY MORTON BAND:Valley Of Light D
(Mandy Morton&Spriguns の Mandy Morton の Mandy Morton Band の唯一のアルバム。1983 年作。バンド・メンバーは Simon Wheeler Hunt, Sean Boucousis, Dominic Green, Gaynor Griffith, David Griffith。独自のブリティッシュ・フォークの世界を創作しようという意欲が表出したブリティッシュ・フォーク。1983/1995 作。English Garden)
- *TOM YATES:Love Comes Well Armed A
(Tom Yates {1944-1993} は David Bowie とロンドンのフラットで一緒に、Paul Simon の紹介でアルバム・デビューをしたという。本作は 1973 年に President というレーベルから発売された Tom Yates の二枚目。B. J. Cole や Duncan Browne がバックを務めていて、一種独特な浮遊感のある世界は John Martyn の世界にも通じるが、T. Yates の方がフォークっぽい。1973/2013 作。Epona)
- *SHIRLEY & DOLLY COLLINS:For As Many Will ¥2666
(Shirley&Dolly の 1978 年作。クリンク・レコードより国内盤発売。解説:船津潔。解説は、「シャーリー&ドリー・コリンズの歩み」、「『フォー・アズ・メニー・アズ・ウィル』はシャーリー&ドリーの終着点」そして「曲目について」という構成。78/2012 年。クリンク)
- *MARY JANE:Tacit B
(70 年代ブリティッシュ・フォークの麗しさを追い求める Mary Jane の 3 枚目はライブ・セッション。Fairport, Steeleye, Trader Horn, Trees のフレイグアークがお好みの方は必聴。“Matty Globes”そっくりな“Lady Margaret”, “She Moved thro’ the Fair”, “Blackwaterside”ほか全 13 曲。2000 作。Seventh Wave)

- *IAN A ANDERSON:Time Is Ripe a
 (Village Thingレコード40周年を記念して発売された現fRoots誌編集
 長でVillage Thingの創設者のIanのVillage Thing時代の70年、71
 年、72年作の三枚から17曲と未発表音源からの3曲の20曲収録編集
 CD。Wizz Jonesの諸作に匹敵する70年代ブリティッシュ・フォーク/ギター・フ
 ァンは必聴の名作。w. Hunt&Turner, Mike Cooper, Maggie Holland, etc.
 2010作。Weekend Beatnik)
- *THE INCREDIBLE STRING BAND:Their First Album B
 (Robin Williamson&Mike HeronによるISBの67年作。デジパック{紙ジ
 ャケット}。67/2010作。Fledg'ling)
- *JULIE FELIX:Cloth's Web B
 (1972年作に6曲のボーナス曲入りの全18曲。99作。Red Fox)
- *ROBIN WILLIAMSON & HIS MERRY BAND:Journey's Edge B
 (1975年録音の未発表音源10トラックを加えた計21トラックで再発。Merry
 Bandは1975年にRobinが憧れのアメリカの町で結成したバンドでメンバー
 はSylvia Woods{ハープ、ハープ・シコード、ヴォーカル}、Chris Caswell{ハープ、フ
 ルート、アコ、ヴォーカル}、Jerry McMillan{フイドル、ヴォーカル}。数多くのRobin
 の諸作の中で最もカヴァーで初々しい。2008作。Fledg'ling)
- *TUDOR LODGE:Tudor Lodge B
 (Digipak{紙ジャケット}仕様。71/2007作。Repertoire)
- *FORMARY FAT HARRY:Goodbye For Good B
 (副題"The Lost Recordings 1969-72"。Country Joe&The Fishのペ
 ー奏者だったBruce Bartholがカリフォルニアから二人の友人を呼び寄せ
 ザリスで結成したブリティッシュ・フォーク・ロック・バンドの未発表音源集。全12
 トラック。P16のブックレット付。2008作。Hux)
- *VASHTI BUNYAN:Some Things Just Stick In Your Mind C
 (ハードカバー特製見開き紙ジャケットで全25トラック収録の2枚組。副題
 "Singles and Demos 1964-1967"。1964年から67年収録のシングル盤
 音源4トラックとシングル盤未発表音源3トラックと多数の未発表デモ・ブ
 音源等からの編集盤。P24のブックレット付。2007作。Fatcat)
- *RALPH McTELL:The Definitive Collection ¥1880
 (R. McTellのシングル盤音源の"Street Of London"を含む16トラック収録
 の編集CD。2007作。Highpoint)
- *ROBIN WILLIAMSON:The Island Of The Strong Door ¥1050
 (95作。Pig's Whisker Music)
- *DAYLIGHT:Daylight A
 (Mike SilverとChrissie Quayleがリード・ヴォーカルのブリティッシュ・フォーク
 グループ。これほど鮮度の高いフォーク・ロック・バンドは英国にも米国にも
 見付けるのが難しい。Produced by Tony Cox。71作。Hugo-Montes)
- *MCGUINNESS FLINT:The Original B
 (原題"McGuinness Flint"。デビュー作。1970作。EMI)
- *LYLE MCGUINNESS BAND:Elise, Elise (1997作。Diamond) C
- *MARIE LITTLE:Factory Girl B
 (71年Argoから発売されたM. Littleのデビュー作。{LPの場合は}A面に
 収録の6曲がトラッド調でB面に収録の6曲がフォーク〜ブルース調。70年代
 初期のブリティッシュ・トラッドの芳香香る名盤。w. Robin&Barry Dransfield)

- , Smiley, Dave Moses, Bill le Page. 71/2007 作。Smartweed)
- *PENTANGLING "The Collection" D
(Pentangle {17 曲}、John Renbourn {22 曲}、Bert Jansch {22 曲} の計 61 曲入 3 枚組セット。2004 作。Sanctuary)
- *PENTANGLE: Cruel Sister a
(リマスター。70/2001 作。Sanctuary)
- *PENTANGLE: Think Of Tomorrow (91 作。トイ Hypertention) B
- *JOHN RENBOURN: Ship Of Fools B
(J. R., Maggie Boyle, Steve Tilston, Tony Roberts の実質的 J. Renbourn Group の 88 年作。88/2005 作。Sanctuary)
- *JOHN RENBOURN: John Renbourn a
(65 年のデビュー作。未発表曲 3 曲入りリマスター。詳細解説付。2001 作。Sanctuary)
- *JOHN RENBOURN: Black Balloon (79/2005 作。Sanctuary) a
- *JOHN RENBOURN GROUP: Enchanted Garden a
(80/2005 作。Sanctuary)
- *JOHN RENBOURN: The Nine Maidens (85/2005 作。Sanctuary) a
- *PETER KIRTLEY: Peter Kirtley B
(元 Pentangle のギター&ヴォーカルの P. Kirtley の 92 年のソロ。w. Bert Jansch, Liam Genockey, Kenny Cradock, Sally Barker, etc. フォークやジャズの要素もあるオリジナルなフォーク・ロック。92 作。トイ Hypertension)
- *PEOPLE ON THE HIGHWAY "A Bert Jansch Encomium" A
(B. Jansch のベスト盤 2 枚組。Polly Bolton, Maggie Boyle, Donovan, Martin Jenkins, Wizz Jones, Eleanor McEvoy, Ralph McTell, Rab Noakes, Kelly Joe Phelps, Chris Smither, Al Stewart, Steve Tilston, Brooks Williams and more! 全 26 曲。2000 作。Market Square)
- *BERT JANSCH: Birthday Blues A
(2 曲ボーナス付。詳細解説付。69/2001 作。Sanctuary)
- *BERT JANSCH: Moonshine (73 作。Sanctuary) a
- *BERT JANSCH: The Ornament Tree (90 作。Sanctuary) a
- *BERT JANSCH: From The Outside a
(紛失曲 "I Sure Wanna Know" を収録し、新たに CD 再発。93/2001 作。Sanctuary)
- *BERT JANSCH: Live At The 12 Bar (96 作。Sanctuary) a
- *BERT JANSCH: Downunder a
(ギターも冴えて Bert らしいギターの弾き語り中心のライヴ。全 15 曲。98 年録音。2001 作。Castle Music)
- *BERT JANSCH: Crimson Moon (2000 作。Sanctuary) a
- *BERT JANSCH: The River Sessions B
(74 年 11 月グラスゴーの City Hall でのライヴ。74/2004 作。River)
- *BERT JANSCH: Dazzling Stranger a
(アンソロジー-20 曲入編集 2 枚組。2000 作。Sanctuary)
- *HENRY McCULLOUGH: Cut B
(1978~83 年の未発表音源集。全 15トラック。87 作。Line)
- *IAN GOMM: Rock 'n' Roll Heart (2001 作。Gommsongs) A

- *CHAS&DAVE:From Tottenham To Tennessee A
 (Chas&Dave と Joe Bangles が選曲した 79 年から 91 年の音源からの 39 曲収録の 2 枚組。Chas&Dave 独特な二流のセンスが随所に散りばめられた最高のパブ・ロック。これ一枚で彼等のアブラの乗った時代の音楽はたっぷり楽しめる。2006 作。Music Club)
- *CHAS' N' DAVE:Street Party a
 (ノンストップ！パブ・ロック・オンパレードの 50 曲入。2003 作。Pickwick)
- *DONOVAN:Greatest Hits Live B
 (1986 年、バンクーバーでのライブ＋ボーナス曲 3 曲＋未発表音源曲 1 曲の計 18 曲。2001 作。Varese Sarabande)
- *SALLY' S FRIENDS:Boys Of The Town B
 (アイリッシュ系フォーク・デュオの Sally's Friend～Chris Ward [ヴォーカル、ギター] と Pete Onions [ヴォーカル、マンドリン、ギター] の 79 年作。Chris & Pete のシンギングは 70 年代ブリティッシュ・フォークの香りが高く、きりっとして温か。Kissing Spell)
- *STONE ANGEL:East Of The Sun B
 (ブリティッシュ・フォーク・ロックの名盤。2001 作。Kissing Spell)
- *STONE ANGEL:Lonely Waters B
 (ブリティッシュ・フォーク・ロックの名盤。2004 作。Kissing Spell)
- *JAN DUKES DE GREY:Mice And Rats In The Loft A
 (Jan Dukes の 71 作。71/2004 作。Breathless)
- *DAVE WAITE&MARIANNE SEGAL:Paper Flowers C
 (伝説のフォーク・ロック・バンド Jade の Dave & Marianne が Jade 結成前にデュオで活動していた時代の 1967～70 年の未発表曲集。全 22 曲。P12 のブックレット付。2004 作。Lightning Tree)
- *CAT STEVENS:Matthew&Son a
 (CD では未発表のボーナス曲 8 曲付の計 22 曲入。67/2003 作。Deram)
- *CAT STEVENS:Tea For The Tillerman a
 ("Wild World", "Father And Sun" を含む全 11 曲。70 作。Universal Island)
- *JEFF BECK:Blow By Blow/Wired(2 CDセット。Sony) C
- *KILBURN AND THE HIGH-ROADS:Handsome A
 (ご存知 Ian Dury が在籍したパブ・ロック・バンドの 75 年作が 3 曲の未発表音源ボーナス曲入りで CD 復刻。全 18 曲。諧謔的センスと職人ワザ的ロック・ロール魂と魔法仕掛け的センスのあるロックは「パブ・ロック」の範疇を飛び出している。これは大衆娯楽ロックだ。Chas&Dave も真っ青。75/99/2004 作。Dawn/Castle)
- *FOOTPRINTS IN THE SNOW A
 (副題 "An Anthology Of The British Singer-Songwriter Genre 1965-1974"。44 曲収録 2 枚組。Donovan, Bert Jansch, Owen Hand, Billy Nicholls, Ralph McTell, Billy Connolly, Alan Hull, Shelagh McDonald, Gerry Rafferty, Steve Tilston, Richard Digance, Dave Cartwright, Alan Price and more。2004 作。Sanctuary)
- *TREES:The Garden Of Jane Delawney A
 (70 年代ブリティッシュ・フォークの名盤。70 作。Rewind/Columbia)

- *AL STEWART:Orange (72 作。ミレニアム特別仕様。Columbia) A
- *FROGMORTON:At Last D
 (幻のアルバムの CD 復刻。Frogmorton は Young Tradition からの影響大の紅一点の Lucy Sharpe を含む 7 人組トラッド・グループ。Young Tradition 風がオーカル・ハーモニ-を核に青春フォークから Lindisfarne 的庶民フォーク・ロケ的なものまで幅広い「フォーク」を展開する。76 作。2002 再発。Elegy)
- *CHRIS THOMPSON:Chris Thompson B
 (73 年作が 3 曲のボーナス付で、CD 復刻。ニュー・ジャ-ラント 人だがここで。理想のギター弾き語りの 70 年代ブリティッシュ・フォーク。2001 作。Scenescof)
- *MICK GREENWOOD:Midnight Dreamer A
 (74 年の 3 枚目。w. Pat Donaldson, Gerry Conway, William a Murray, Barry de Souza。Voiceprint)
- *DULCIMER:When A Child C
 (純真無垢で英国趣味な最良の 70 年代ブリティッシュ・フォークの芳香いっぱい Peter Hodge&David Eaves の Dulcimer の 93 年作。夢見気分保証。不老の Dulcimer。ブリティッシュ・フォーク・ファンの宝物。93 作。President)
- *SYNANTHESIA:Synanthesia D
 (Dennis Homes, Jimmy Fraser, Leslie Cook の三人組ブリティッシュ・フォーク・グループ。アコースティック・ギターやフルートやオーボエやヴィブラフォンの浮遊感のある不思議なサウンド、そして夢見心地なヴォーカル。Donovan っぽさを感じる September Production 産ブリティッシュ・フォークの名盤。1969 作。1990 年再発。Elegy)